

## ドタバタ台風劇場！

### 繰り返される過去の失敗！ 教訓は生かされないのか！

6月19日、台風4号の影響により運行・列車ダイヤが大幅に乱れました。当日、関係された乗務員の皆さん、大変お疲れ様でした。

この台風直撃の中、東海道新幹線の各地・各所で多数の問題が発生しました。以下は、そのほんの一例です。

- ① 予想進路から台風が直撃するのは明らかにわかっていたはずにもかかわらず、過去の台風・豪雨の教訓を生かされずに間引き運行も行わず、結果的に富士川が警戒水位を越し、上下線で運転見合わせになり甚大な遅れが発生してしまいました。
- ② 風速30メートルの強風の中、強風の徐行を行ったのは風速計の設置されている箇所（橋梁上等）で、その他風速計の設置されていない箇所でも同じ強さの風が吹いていたにもかかわらず最高270km/hで走行させました。
- ③ 富士川の警戒水位が下がる前の、翌20日早朝、早々に東海道新幹線は定時運行を発表しました。しかし、東京始発ののぞみ1号も直前まで運行計画が決まらず、何とか間に合ったものの、新大阪始発ののぞみ200号は14分遅れ（運用の都合）を出してしまいました。
- ④ ドタバタの運用のやり繰りの中で東京駅ホームに留置されていた列車が発前に臨時回送になり、運転担当した管理者が「手歯止め」の撤去を忘れ「手歯止め」を割損させてしまう「事故」まで発生させました。掲示も6日目にやっと掲出され、「担当の運転士が割損させた」と書かれています。が、「管理者が運転担当した」とは一言も書いてありません。

このように、旅客や乗務員の安全を無視した営利優先の姿勢で列車運行が強行されています。まだまだ台風4号により多くの問題が発生しています。しかし、運行に携わった圧倒的多数はユニオン組合員です。ユニオン役員からは管理者の不祥事も含め全く事実が明らかにされていません。

**私たちは、職場の代弁者としてあらゆる問題に対して声を上げていきます！**